



学 校 だ よ り

令和7年8月29日

東京都立石神井特別支援学校

校長 中島 由美子

楽しい夏の思い出とともに、いよいよ来週から2学期が始まります。もうしばらく残暑が続く予報となっていますので、少しずつ心と身体を慣らしていきましょう。児童・生徒のたくましく豊かな成長を目指し、実り多い2学期となるように教職員一同、力を合わせてまいります。皆様の御協力をお願いいたします。

さて先日、練馬区・西東京市、石神井警察署・石神井消防署、地域の消防団や町会長を外部委員として、防災教育推進委員会を開催しました。本校PTA会長、新たに交流校の石神井台小学校の校長先生にも参加していただきました。外部委員の皆様に本校の防災に関する取組を御理解いただくとともに地域の実情や幅広い視点で御助言いただく機会となりました。

8月30日から9月5日までは防災週間です。9月11日には中学部2年生を対象に、防災訓練を計画しております。本校では非常時の備えとして、児童・生徒・教職員用が3日間生活できるよう水や食料、衛生用品（口腔内の衛生を保つことは感染症対策に重要）、簡易トイレ処理セット、発電機やランタン、エアーマットなどを備蓄しています。児童・生徒数も増えていることから少しずつ資材等を増やしてきました。災害時用の薬やアレルギー対応食については保健室でお預かりしています。

御家庭においても様々な備えをされていることと思います。私が先日伺った講演では、子供自身が災害時に備えた「防災リュック」に必要な物を自分で選んで入れる取り組みの紹介がありました。暗闇が苦手な子供が「懐中電灯を3個入れた」「安心グッズ、好きなお菓子を入れた」など、オリジナルのリュックづくりに「一人一人必要な物は違う」ことを再認識しました。定期的な訓練を繰り返し行い事前の備えや心構えをもつことが大事ですが、自分事として振り返る防災週間としていきたいと思います。

■教員研修【校内教材展】の実施について

本校では、昨年度より「主体性を育む授業づくり」を目指して教員研修や教材開発に日々取り組んでいます。この夏休み中にも、校内で「教材展」を実施しました。各教員が自分で作成した木工教材や数・文字の教材、ICT教材などのアイデアを共有しました。

また、8月25日には全校研究会の講演会前に講師の立松英子先生にも教材を見ていただきました。教材の大きさや工夫などを褒めていただきました。これからも、教員同士が互いに学び合い、より良い教育活動を展開していくための取り組みを続けてまいります。

(研究部 豊岡 孔明)

